

小児科

1) 研修スケジュール

月	8：30～ 小児救急カンファレンス		
火	8：40～ 小児救急カンファレンス	12：30～ Drug Information（不定期）	
水	8：30～ 小児救急カンファレンス	9：15～ Dr.Ns.カンファレンス	
木	8：30～ 小児救急カンファレンス		17：00～ 周産期カンファレンス
金	8：30～ 小児救急カンファレンス	13：30～ 部長回診（回診前にプレゼンテーションあり）	
土	8：30～ 小児救急カンファレンス		

2) 小児科における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修 終了時	指導医 記入欄
1.	子どもや家族と良好な人間関係を築くことができる。			
2.	子どもや養育者との信頼関係に基づいて情報収集ができる。			
3.	年齢に応じ、適切な手技による系統的診察ができる。			
4.	必要最小限の検査を選択し、患者・家族の同意のもとに実施できる。			
5.	性、年齢、重症度に応じた治療計画を指導医と共に立案できる。			
6.	医師、看護師、その他スタッフと協調して医療ができる。			

a=十分できる b=できる c=要努力（3段階評価） / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

経験できる疾患 ・感染症：発疹性ウイルス感染症、インフルエンザ、敗血症、髄膜炎など ・呼吸器疾患：クループ症候群、気管支炎、細気管支炎、肺炎など ・消化器疾患：乳児下痢症、感染性腸炎、腸重積、急性虫垂炎など ・アレルギー疾患：気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎など ・循環器疾患：先天性心疾患、不整脈など ・神経疾患：熱性けいれん、てんかんなど ・発達障害・精神疾患：精神運動発達遅延、自閉スペクトラム症、ADHDなど ・血液・腫瘍疾患：白血病、小児がんなど ・免疫・リウマチ疾患：川崎病など ・腎疾患：尿路感染症、急性腎炎、ネフローゼ症候群など ・遺伝疾患：ダウン症候群など ・内分泌・代謝異常：低身長、糖尿病など ・救急疾患：けいれん重積、心肺停止など	経験できる手技 ・静脈採血、血管確保 ・動脈採血、血管確保 ・中心静脈確保（助手） ・皮下注射 ・筋肉注射 ・鼓膜検査 ・腹部超音波検査 ・心臓超音波検査 ・腰椎穿刺 ・骨髄穿刺（助手） ・経管栄養チューブ挿入 ・腸重積整復術（助手） ・小児一次救命処置法
--	---

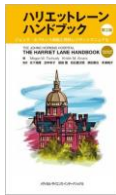
小児科

4) 推薦書籍



難易度★★

コメント
今も昔も世界の
小児科医の
バイブルです。



難易度★★

コメント
海外でもロング
セラーの小児科
レジデント本で
す。



難易度★

コメント
非医師の医療職
も読者に想定し、
わかり易く編集
されています。



難易度★

コメント
日本の小児科
レジデントに
大人気の1冊
です。



難易度★

コメント
この1冊に小児
感染症治療のす
べてが集約され
ています。

5) 事前アンケート

1. 将来小児科に進む可能性がありますか？ (Yes No)
2. 以下の小児分野から特に興味のあるものを選んでください(複数選択可)
 - a. 感染症
 - b. 呼吸器
 - c. 消化器
 - d. アレルギー
 - e. 循環器
 - f. 神経
 - g. 発達障害・精神
 - h. 血液・腫瘍
 - i. 免疫・リウマチ
 - j. 腎
 - k. 遺伝
 - l. 内分泌・代謝異常
 - m. 救急
3. 当科研修中、小児救急当直の副直以外でも、将来のため小児急患外来への参加とその指導を希望されますか？ (Yes No)
4. 他科学会参加・発表や、特別休暇(夏休みを含む)など事前にわかっている予定があれば、教えてください。

6) 自由記載欄(研修について要望などがあれば記載してください。)

--

7) 研修終了時、指導医との振り返り(必ず記載し指導医がセンターに提出)

できるようになったと思うこと(研修医記載)	不十分だったと思うこと(研修医記載)
できていると思うこと(指導医記載)	今後頑張ってもらいたいこと(指導医記載)
	指導医氏名(押印可) _____
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか	～次へのアクションプラン(研修医記載)

研修医氏名 _____